

学年	高校 3 年	教科	地理歴史	科目	世界史演習	単位数	7
教科書名	詳説 世界史 B (山川出版)				副教材名	アカデミア世界史 (浜島書店) 詳説世界史改訂版スタンダードテスト (山川出版) 世界史用語集改訂版 (山川出版)	
コース・クラス	N進文系						

I. 目標

1. 基礎学力到達度テスト8割をめざし、基礎的な問題に対応できる実力を身につける。
2. 多角的な視点を持ち、国民としての自覚と国際社会に生きる日本人としての資質を養う。
3. 学習を通じて世界の一体化が進む過程を理解し、歴史的思考力を培う。

II. 授業のねらい

1. 基礎学力選抜方式での日本大学合格を目指し、講義や問題演習を実施する。
2. 現代社会に起こる様々な出来事に歴史的背景があることを理解させ、物事を多面的に捉える力を身につけさせる。
3. 日本を含む世界の歴史の複合性や関連性を理解させ、歴史に対する理解を深めるとともに、生徒の学力向上を図り、生徒の進路実現に寄与する。

III. 授業の進め方

1. シラバス通りの授業を展開する。
2. 模試演習、過去問演習、到達度演習など、必要に応じて実施する。
3. 世界史用語集の重要単語を学習の目安とする。
4. 一問一答などの復習課題を出し、既習範囲を繰り返し復習させる体制を作る。
5. 図表などを使用しながら、その時々事例と現代とのつながりをつかませる。

IV. 学習上の留意点

1. 用語の暗記のみではなく、様々な事象を体系的に覚えること。
2. 板書の書き写しだけではなく、口頭での説明を細かくメモし付随する知識も身につけること。
3. 配られた資料は、ノートに貼るなどして管理し、復習に努めること。

V. 定期試験

- 1学期 中間試験 : 産業革命～19世紀欧米の文化
- 1学期 期末試験 : オスマン帝国支配の動揺と西アジア地域～アジア諸国の改革と民族運動
- 2学期 期末試験 : 戦後世界秩序の形成とアジア諸地域の独立～現代文明の諸相

VI. 評価の方法

各学期の定期試験、小テスト、提出物（課題）

VII. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4	第10章 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立 1 産業革命 2 アメリカ独立革命	小テスト	①18世紀後半から始まる一連の「市民革命」が近代「国民国家」の成立と近代民主政治に与えた影響を理解する。
	5	3 フランス革命とナポレオン 第11章 欧米における近代国民国家の発展 1 ウィーン体制の成立 2 ヨーロッパの再編と新統一国家の誕生 3 南北アメリカの発展 4 19世紀欧米の文化	中間試験	②市民革命後のヨーロッパ諸国・ラテンアメリカにおける自由主義とナショナリズムの運動の広まり、およびアメリカ合衆国の領土拡張と南北戦争以後の発展について理解する。
	6	第12章 アジア諸地域の動揺 1 オスマン帝国支配の動揺と西アジア地域 2 南アジア・東南アジアの植民地化	小テスト	③繁栄するアジアに進出したヨーロッパ勢力により世界の一体化が進み、ヨーロッパ優位の「近代」の世界構造が構築されたことを確認する。
	7	3 東アジアの激動 第13章 帝国主義とアジアの民族運動 1 帝国主義と列強の展開 2 世界分割と列強対立 3 アジア諸国の改革と民族運動	期末試験	④帝国主義の特質およびその時代における欧米列強諸国の国家・社会の変化を理解するとともに、列強の支配を受けたアジア諸国の改革と民族運動の形成を理解する。
	9	基礎学力到達度テスト対策演習	到達度テスト	
	10	第14章 二つの世界大戦 1 第一次世界大戦とロシア革命 2 ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 3 アジア・アフリカ地域の民族運動 4 世界恐慌とファシズム諸国の侵略 5 第二次世界大戦	小テスト	⑤第一次世界大戦とロシア革命により20世紀の国際秩序が大きく変動したこと、国際協調を基調としたヴェルサイユ体制から一転して世界恐慌により国際的な緊張が高まったこと、そして第二次世界大戦を通して米ソの国際的地位が高まったことを理解する。
	11	第15章 冷戦と第三世界の独立 1 戦後世界秩序の形成とアジア諸地域の独立 2 米ソ冷戦の激化と西欧・日本の経済復興 3 第三世界の台頭と米・ソの歩み寄り 4 石油危機と世界経済の再編	小テスト	⑥米・ソを中心とした冷戦体制の成立から冷戦の激化、その後の国際政治や経済の多極化、そして冷戦終結へと至る流れを理解する。
二学期	12	第16章 現在の世界 1 社会主義世界の変容とグローバリゼーションの進展 2 途上国の民主化と独裁政権の動揺 3 地域紛争の激化と深刻化する貧困 4 現代文明の諸相	期末試験	⑦帝国主義の時代からグローバル化した「地球世界」が成立した現代までの歴史を再確認し、その課題から21世紀の世界を展望する。

※ シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により変更することもあります。